

「PReMA (タイ製薬協) 40周年記念セミナー」 開催される

トピックス

PReMA40周年記念セミナーが2010年10月29日バンコク市シェラトン・グランデ・スクンビットホテルで開催されました。品質、ヘルスケア財政、プロモーションコードの3つのテーマでの講演、パネルディスカッションがありました。品質セクションでは、日本から製薬協が招待され、品質の重要性とGMPについて説明をしました。

PReMAについて

記念セミナーには、タイ政府、医療機関、製薬企業など約200名が参加しました。製薬協品質委員会GMP部会の磯部部会長(武田)、益田アジア部会長(中外)および筆者がPReMAから招待を受けセミナーに参加しました。現地からは製薬協会員企業の現地企業の関係者も数多く参加しました。ホテル2階のフロアでは、セミナー会場以外に広報活動の紹介、糖尿病、高血圧などの医薬品使用についてなど、タイ語のみでのセミナーも同時に開催されていました。在タイ日系医薬品企業との関係を強化することを目的に、2009年10月にはPReMAとカウンターフィット薬対策をテーマにセミナーを開催し、日本大使館から全面的な協力がありました。今回のセミナーにも、日本のプレゼンスが高まればとのことで日本大使館から山下一等書記官(厚生労働省)が出席しました。



セミナー風景

PReMA 40周年記念セミナーの オープニング

オープニングではタイ語によるPReMAの広報ビデオが正面大型スクリーンに映し出され、医薬品の生産現場、病院での使用、広報活動等が紹介され、PReMA関係者によってセレモニーが華やかに行われました。



セミナーの登壇者



ディスカッションの様子

品質セッション

製薬企業にとっては、有効性、安全性を担保して、安定して品質の確かな医薬品を患者さんに届けることが使命ですが、タイにおいては、まだまだ品質管理に課題がある模様です。機部部会長からは、なぜ医薬品の品質をGMP/GDPで管理するか、筆者からは医薬品アクセス問題では品質管理が重要であるとの内容での講演を行いました。

その他の講演者、講演内容については以下の通りです。

① プリーチャ前タイムネージメント協会会長

消費者の要求は、品質、価格、流通において満足させなければならず、消費者にブランドネームを浸透することはブランド企業にとって重要であると強調しました。

② 筆者

医薬品の場合、確かな品質を生産するには薬事法（GMP、GCPなど）の遵守が基本であり、先発品メーカーもジェネリック品メーカーも患者さんから信用を得るに品質確保をしなければならぬと話しました。

③ ピーター・ジャガー 韓国研究開発製薬工業協会（KRPIA）会長

革新的新薬を産出するにバイオ産業へ政府の協力、GMP遵守と医薬品安全に対する規制強化が必要であること、KRPIAは韓国政府と市場アクセス、コード実行などについて建設的な官民対話

をしていると話しました。

④ 機部GMP部会長

医薬品の目標品質（有効性、安全性の担保）、統計における α 過誤、 β 過誤に模して規格試験結果の目標品質からのズレについて最近の事例から紹介、GMPの重要性および、WHOのGDPにおいて製薬企業が特に注意を要する項目についての説明がありました。

⑤ ティーラ・チャカナロドム PReMA 会長

品質および安定性、有効性、安定供給の重要性、患者さんにとって品質がなぜ重要か、医薬品のブランドには医療従事者、患者さんと交わした約束と期待があることを話しました。

午後の部

ヘルスケアファイナンスのディスカッション

PReMAのヘルスシステム担当のタブラップ部長の司会進行で、リチャード・バーグストム スウェーデン製薬協（LIF）理事長、ブレンダン・ショウ オーストラリア医薬品理事長（オーストラリアからTV出演）、ナリス・チャヤスット タイ政府フィジカル政策局理事、アンマー・シラムワラ タイ研究開発院（TDRI）が参加、医療技術評価についての説明がありました。そして、タイにおける医療保険制度、医療費用、患者負担の問題点、医療サービスの不公平さなどの話もありました。

（国際部長 宮澤 清治）